



# 夏の甲子園 光星執念逆転劇

## 智弁(奈良)下し3回戦へ

12日に兵庫県西宮市の甲子園球場で行われた第101回全国高校野球選手権大会2回戦で、青森県代表の八学光星は智弁学園(奈良)との打撃戦を10

18で制し、2014年の第96回大会以来5年ぶりとなる3回戦に進出した。光星にとっては甲子園で普通算30勝目の節目ともなった。(取材班)

八学光星 1030003012 10  
智弁学園 000017000 8  
(奈良)

光星は序盤に近藤遼一、武岡龍世のソロ本塁打などで4点先行。六回にも打者一巡の猛攻で3点を奪い

7-1とした。その裏に4安打と4四死球が絡んで、試合をひっくり返されたが、終盤に底力を発揮。八回に下山昂大の適時打で追いつくと、九回2死満塁から、途中出場だった薄波大和の一塁強襲内野安打で2点を奪い、これが勝ち越し

打となった。光星の3回戦は大会第10日の15日第4試合(午後3時半開始予定)で、8強入と対戦する。

10、11ページに詳報、20、21ページに関連記事